

令和3年度 第1回 男女共同参画及び多様な性の尊重に関する審議会 議事録

- 1 日 時 令和3年5月28日（金）午後2時00分～午後3時50分
- 2 場 所 横須賀市役所はぐくみかん 会議室4
- 3 出席者
 - [委員] 11人（委員全員出席）
志村委員長、飯田委員、井澤委員、井田委員、奥委員、工藤委員、櫻井委員、中島委員、早川委員、藤原委員、横山委員
 - [事務局] 5人
市民部 鶴飼部長、市民部人権・男女共同参画課 杉山課長、井口係長、川井、川上
 - [傍聴] 4人
- 4 報告事項 (1) 令和3年度 男女共同参画推進事業概要について
(2) 横須賀市役所の管理職等に占める女性割合等について
(3) 中学生を対象とした男女共同参画啓発冊子の改訂について
- 5 審議事項 (1) 令和3年度 審議内容について
(2) 市民意識調査アンケートの調査項目の確認について

6 議 事

開 会	
事務局	開会
事務局	挨拶
事務局	審議会定足数の報告・審議会成立の報告 事務局職員紹介
事務局	配布資料の確認
事務局	委員長に議事進行依頼
委員長	それでは議事に入ります。よろしくお願ひします。次第に沿って議事を進行していきます。最初に「2 報告事項」の(1)から(3)までの3項目について、事務局より報告お願ひします。

報告事項

事務局	<u>報告事項（１）「令和３年度 男女共同参画推進事業概要について」について、資料１に沿って説明</u>
事務局	<u>報告事項（２）「横須賀市役所の管理職等に占める女性割合等について」について、資料２に沿って説明。</u>
事務局	<u>報告事項（３）「中学生を対象とした男女共同参画啓発冊子の改訂について」について、資料３及び現在の中学生向け冊子に沿って説明。</u>
委員長	以上３項目の報告事項について御質問がありましたら、お願いいたします。
委員	中学生の冊子の改訂に関することについて、なかなか難しいのは承知していますが、使用状況についてその後、追跡調査を行っていますか。
事務局	使用状況については、以前から審議会でもご質問いただいております。今回改めて現場の先生にアンケートを取ろうと考えており、その準備をしております。現時点では把握していませんが、６月中にアンケートを市内各中学校に配布しますので、それで生のご意見を聞いて把握したいと考えています。 教育指導課の指導主事から話を聞いたところによると、現在の冊子は教師が授業で使用する指導案には無いため、指導案の含めて考えると、来年度以降、冊子を使いやすいものになるとアドバイスもらったので、その辺も含めて考えていけたらと考えています。
委員長	やりっぱなしにもなり得ることなので、その辺の事項も含めて現場からの生の意見を聞きながら進めていただきたいと思います。
委員	同様に中学生の冊子について質問します。冊子を配布する目的、意図については、先生方が授業をすることを前提として、この冊子を届けたいということでしょうか。
事務局	授業を前提としているわけではありませんが、学校で活用していただくという意味では授業で使用することを意識したほうが良いとは考えています。ただ、教育指導課の指導主事からいただいた助言によると、各学校からの依頼により人権・男女共同参画課から出前の講演をさせていただいていることもありまして、講演と連動した形のものでも良いのではないかと考えています。そうすることで、講師の方の説明を受けてその場で冊子を活用することで繋がるのではないかとというアドバイスをいただいております。

委員

中学生の冊子の件について、指導主事にアンケートを取るということを言っていました。肝心なのは中学生自体に読んでいただくということなので、生徒会でも構わないと思いますので、読んでもらって中学生自身の感想を聞いて反映をしていかないと良くないのではないかと思います。先生であれば、ある程度男女共同参画について理解をしていますので、全く知らない中学生に向けて作っていかねばならないと思います。中学生に意見を聞いて、どうしたら読みやすくなるか、全く知らない中学生がこの冊子を見ても頭に入ってこないのではないかと思います。「自分らしく生きるとはどういうこと？」と言ったことや、過去の歴史等の導入部分をきちんとしておかないと、いきなりハードルが高いものを越えていこうとするのは中学生には無理だと思うので、生徒からの意見を取ったほうが良いと思っています。

委員長

冊子の一番後ろに、皆さんへのメッセージとして「どのように感じましたか？」と問いかけているので、答える欄を作ってあげるのも良いのではと思いました。答えを集約することができればよいのかと思います。SNSを活用してでも意見が集められれば、それを活かしていければ良いのかと思います。

委員

中学生の冊子の取扱いについて、注意したいところ、お願いしたいことがあります。昨年度くらいから、中学校1年生の入学式の時に女子がズボンを履いてくるという選択をされて、今年も見ている限りでは1割ほどの女子生徒がズボンを履いて学校に来られています。お願いというのは、LGBTの表題については、割と子どもたちは、そこにあるものとして捉えてはいますが、取り上げて授業をした時に、そのクラスに一定数いる性的マイノリティの生徒自身が自分自身のこととして捉えることになるため、その点について非常に注意していただきたいと思います。私の会社でも、今年度の新入社員で、ジェンダーの人たちが出てきておりまして、普段の生活・学校・会社でも、普通に存在してきているものです。それを取り上げて授業をすることによって、その子を名指しするような状態の中で授業を進めるのはどうかと思うので、その点についてもう少し「あるものとして捉える」といった授業、教え方であれば良いと思っていますので、その点についてお願いしたいと思います。

委員長

ものがあると言うより、どう使うかが大事であるということは共通のご意見であるかと思います。その辺りもしっかり検討して扱っていただければと思います。

- 委員 広域の意味での男女共同参画なので、トランスジェンダーのみでなくて、ワークライフバランスという側面もあるので、バランス良く吟味してもらえると良いと思います。
- 委員 冒頭、資料1の部分で、横浜Fマリノスとのコラボが実現することで、素晴らしい取り組みだと思います。なかなか男女共同参画に関心を持ってもらおうと思っても関心を向けてもらうのは難しいので、サッカーファンの方々、サポーターの方々にも読んでもらえればと思いました。ただ1点心配な点が、サッカー選手をイメージすると、ご自身が活躍し給料を稼ぎ、妻がサポートし支える側という形が多いのではないかと思うので、選手とのインタビューの中では、性別役割分担意識が助長されることがないように内容等も気を付けてもらえればと思いました。
- 委員 中学生冊子につきまして、先ほど他の委員がおっしゃった意見について、私も同感だと感じまして、例えば人権に関するパンフレットや事業に関する資料が学校現場に届けられるときは、外国人や障がい者のケースの時は何かしらの配慮がされていたりするものですが、そういった配慮はされるのでしょうか。他のテーマの時はどのようにされているのか伺いたいと思います。
- 事務局 申し訳ございません。他のテーマについてどういった形で配布されているのか現時点では把握しておりませんので、今回のアンケートの時に確認させていただければと思います。
- 委員 人権に関わることや、それ以外にもワークライフバランスやDV、ジェンダーについても、子どもたちの中にこういう個性をもった子どもがいるといった想定の中だと思います。他の人権課題も同じだと思います。人権に関して、これまで取り組まれてきたこと、テーマが色々あります。それに関して同じように学校現場に届けられる時に今まで配慮がされてこなかったとしたら、それはそれで問題かと思います。もし、工夫がされていることがあったら、それをヒントに、今回お配りになるときも加味したほうが良いのではないかと思いました。
- 委員 報告ありがとうございます。予算の減額や女性の管理職割合について、なぜ減ってしまったのか、説明がとてもわかりやすかったです。私も横浜Fマリノスとのコラボレーションについて気になって、興味本位の質問になってしまったら申し訳ないのですが、どういった背景があってコラボレーションすることになったのかお聞きしてもよろしいでしょうか。

事務局	<p>横浜Fマリノスがホームタウンということで、久里浜に練習場を造ることもあり、スポーツ振興課のほうで市全体として、協働で何かできることはないか、全庁的に各課に照会があり、その中で先ほど委員からの指摘にもあるように、まず広報誌をみてもらわないといけないと思った思いで、それに手を挙げたということがありました。</p> <p>そして、男性の男女共同参画という非常に大きなテーマ、特に男性に関しては、当事者意識をもっていただくということがありますので、ぜひ、実践されている選手をご紹介いただけないかということで横浜Fマリノス側に投げかけております。先方も趣旨を理解してもらっていただいていますし、SDGsの取り組みもあり、むしろ積極的にご提案をいただいています。発端としてはそういった経緯で始まっています。</p>
委員	ありがとうございます。素晴らしいと思います。
委員長	管理職の割合について、女性の管理職数が2名減ということになっていますが、興味本位ではなくデータとして知っておきたいのですが、これは、異動による減少ですか、それとも、定年退職による減少ですか。
事務局	女性の課長職以上の管理職、4名退職されました。2名は定年退職、残り2名は普通退職です。
委員長	<p>退職による減少の場合、管理職が大変であることでの退職なのか等の事情を、可能であれば追跡調査できれば、何かしらつかめることもあるかと思います。情報として知っておくと全体として流れが見えてくることもあって良いかと思います。</p> <p>他に質問はありますか。よろしければ続いて、「3 審議事項」に移ります。</p> <p>まず始めに「(1) 令和3年度の審議内容」について、事務局より説明をお願いいたします。</p>

審議事項

事務局	3 審議事項(1)「令和3年度 審議内容について」について、資料4に沿って説明。
委員長	<p>では、今説明いただいた今年度の審議内容についてですが、この部分は流動的でもあるので、特にご意見等がなければ次の事項に移りたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>まっさらな意見と言うのも大事かと思いますが、今までのプランの良かった点や悪かった点もあると思います。ゼロベースで考えられる点は良</p>

いかと思いますが、難しすぎると言うか、答えやすい形式にしてもらえ
る工夫をしてもらえると、委員の皆さんもやりやすいのかと思います。
我々委員としてはゼロベースだとハードルが高いように思います。意見
が出しやすいように配慮いただけると助かります。お願いします、

委員 基本方針、骨格だけ示していただければ、そこに枝付けはできるかと思
いますので、骨格ないままだと多分バラバラになって、それは委員から
の意見なので事務局としてもないがしろにできない状態になってしまっ
て事務局としてもまとめきれなくなってしまう可能性もあるので、枝葉
を私たちが意見として出せる形にしたほうが良いかと思います。

委員長 続いて、「（２）市民意識調査アンケートの調査項目の確認につい
て」、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 審議事項３「（２）市民意識調査アンケートの調査項目の確認につ
いて」について、資料５に沿って説明。

委員長 では、今説明いただいたアンケートについてですが、全体として量が多
いので、まず、市民向けのアンケートについてご意見やご質問がありま
したらお願いします。

委員 年齢のところですが、６９歳までになっています。横須賀市で一番人口
が多いのはベビーブームがピークとなっているので７０代が多いと思
います。何か意図があって６９歳までになっているのでしょうか。７０歳
以上にはアンケートの対象になっていないのでしょうか。人生１００歳時
代と言われていきますので。

事務局 前回、前々回のアンケートを含めての数字の経過を見るため、また、今
回高校生の年齢層を加えたのもあり、なるべく同じボリュームのところ
を聞くという意味合いがありこのようにしました。７０歳以上を対象か
ら除いた、という意味での答えは持ち合わせていません。前回同様、と
いうことでこのようにしました。

委員長 無作為抽出となっていますが、１５歳以下には届かないにしろ、７０歳以
上は抽出されない仕組みになっているのですか？

事務局 抽出方法は、まず、地区別に人数を割合に応じて割り振って、割合を振
ったその地区の中で年齢を無作為に取っていく方式になっています。

委員 そうすると、はっきりと何歳まで書いておいたほうが良いと思います。

事務局 書くようにします。

委員 4 ページの問 6 について、事前に何度か調査票を見たつもりではあるのですが、既婚の方だけにしか聞かないということになっていますが、例えば高校生や未婚の方は答えないということではよろしいでしょうか。

事務局 そうです。

(委員 1 名 所用により退席)

委員 話が戻ってしまいますが、先ほどの年齢の件で、私も 70 歳以上が対象ではないことが納得いかなくて、やはり今 70 歳以上の人口が多いので、その方々の意見を全く聞かないというのはどうなのかと思いました。

委員長 アンケートの目的が何かによるかと思います。ずっと経年で何回かこのように聞いてきました。そのように追っていくもので、その方々が段々と世代があがっていくことによって、かつて 50 代だった方が 20 年後 70 代になった時に、回答の傾向が変わって、高齢になって現代の思考性に合わせてちゃんと理解しているということを確認するためには聞いてみたほうが良いのではと思います。70 歳まで、と表紙に記載した場合、当然、なぜ 70 歳までなのか、とたくさん聞かれると思うので、あらかじめ事情を書いておいたほうが良いのではないかと思います。その点について、当局で自信がないのであれば、少し考えたほうが良いのかなと思います。明快な理由なくして疎外感を与えるのは市民感覚としてもいかがかと思えますし不自然かと思えます。

委員 7 ページの育児休業を取得した期間ということで、私のほうで素案に意見を出して入れていただいたのですが、説明のところに最近 10 年以内に、期限をきって限定して作られているのですが、この 10 年に区切ったという意図はあるのでしょうか。

事務局 育児休業の取りやすさや浸透度合いについては、ここ数年だけ見ても大きく状況が変化しています。そういった中で、例えば 50 年前、30 年前に育児休業を取得した方に回答いただいて、最近の比較的取得しやすい風潮になってきた中で取った方と合わせて統計として見るのは、状況が違う中なので、あくまで最近の傾向としての数値を捉えるという目的で、最近 10 年と区切らせていただきました。

委員	わかりました。政策として、最近取りやすくなったのかどうかということをつかむ意味でも、最近10年と区切りをつけられるのは良いかと思います。
委員	<p>70歳以上の件について、事務局の意見を察するに、例えば3ページ、問5の中で、「男性は外で仕事をし、女性は家庭を守るべきである」の回答で「そう思う」の回答が増えてアンケート結果に影響がありそうだなという思いもしないこともないのですが、公平に検討されると良いと思います。</p> <p>もう1点7ページ。育児休業の期間を男性に聞くというのはとても良いと思うのですが、男性に限定しなくても良いのではないのでしょうか。女性との比較を取れたらより良いのではと思います。ご検討いただくと幸いです。</p>
事務局	<p>期間を問う設問を加える検討をした時に、女性の場合は、概ね育児休業を取得できる期間満了まで取得されるケースが多い傾向がある一方、男性の場合は事情などによって短い期間の取得、長く取得するパターン、様々であることから、その辺の実情を把握するために、あえて男性のみに限定する設問にさせていただきましたが、女性に聞いてみて実際はどうなのかを確かめることも良いかと思しますので、加える方向で検討させていただきます。</p>
委員長	<p>単独集計のほか、クロス集計をすることにより、こういった傾向があるのかは集計でつかめると思います。</p>
委員	<p>前回の素案の時には気づかなかったのですが、11ページ、問28の回答に「その他」が無くて良かったのでしょうか。1から4で答えられる、ということでその他は入れなかったということでしょうか。「いたらどう思うか」という設問に対して、これ以外の答えもある気がするので、必要な気がします。</p>
事務局	<p>1つ敢えて選んでもらうということでこのような選択肢を用意した形になっています。その他を入れない積極的な理由はないのですが、入れると「その他に」回答が集中することが予想されますので、回答結果を数字として把握して分析するときに、難しくなるのではと思います。</p>
委員	<p>今の11ページ問28についてですが、もしその他を入れないで4つだけに絞るとしたら、「どう思うか『近いものを』1つ選んでください」と「近いものを」を一言加えると選びやすくて良いと思います。</p>

委員

その他を入れると、回答がたくさん出てきてしまうかもしれないので、それでよろしいかと思います。

事務局

他の設問でもそのようなご意見をいただいたので、全体を通して答えやすい設問になるように改めて確認します。

委員

7ページのワークライフバランスの件につきまして、ワークライフバランスについて最近仕事柄調べておまして、他の設問はどちらかというところ皆さんの考えを聞く設問になっていますが、この設問では公的な取り組みについて聞いているので、その前にワークライフバランスの課題は何か、ということをちゃんと設問として聞いて、その上で支援として何が良かったのかという流れになったほうが良いかと思います。全体のボリュームからするとワークライフバランスの扱いが軽いなという印象を感じられましたので、その辺があると良いかと感じました。ワークライフバランスについて気になる理由として、企業における働き方改革やワークライフバランスが非常に遅れているという部分があります。特に36協定、有給休暇の義務化、そういったところが非常に遅れている中で、やはり課題ということは、最初の属性を聞くところで、働いている方については、何らかのワークライフバランスを取っていいな課題があるはずなんです。できれば、働き方のところに「経営者」の選択肢を入れていただくと良いと思います。

7ページの「5 男性中心型労働慣行の是正について」の表題は、堅いかなという印象があります。「男性の育児や介護への参画について」等のこの設問の後ろを見ても育児介護だけなので、その表現でどうかなと思います。

全体的に意見として、市民アンケートについては、できれば、法人企業だけでもいいので、企業の経営者にアンケートをとっていただけないかと思っておまして、企業の経営者の中にはワークライフバランスなんてやっている暇はない、といった方がまだいらっしゃる場合があるので、このアンケートは、1つは現状を把握する役割、もう1つは啓蒙するという意味もあると思います。こういった社会になっているのだと気づかせる意味合いもあると思うので、できれば法人税を納めてくれているところだけ等、もし可能であれば、今回は無理かと思いますが前回までは経営者にもやっていたと思うので、無理であれば次回以降ご検討いただければと思います。

事務局

委員がおっしゃられたご要望につきましては、一度持ち帰って検討させていただきます。

委員長	以前から、事業所については、市役所を一事業所と捉えて、市役所で起こっていることを検証して、その課題を市内の企業や事業所にあてはめて啓発していくと言う流れがあるように思います。企業や事業所については規模が大きくなるので、その辺は県に委ねると言った傾向があるような気がします。今後、考えていく必要があるかもしれません。
委員	中小企業の中には、「健康経営」ということに取り組んでいるところが増えてきているようです。従業員の健康管理、経営者の健康管理等です。例えば、そういったところに、大掛かりなアンケートではなくても少しヒアリングという形で聞いてみるということでも良いかもしれません。
委員長	プランに活かしていくのであれば、企業の声というのも大事な1つの意見ということになるかと思います。 今回の市民向けのアンケートの中には、働く人からの意見もあるかと思えますので、今回はこれでも良いかと思いますが、表現の中での工夫ができれば検討してもらえたらなと思います。企業向けについてはまた考えていただくという形でよろしいかと思います。
委員	11ページの問26「性的マイノリティの方々が生活しやすくなるために」の設問の文章で、「性的マイノリティの方々『も』生活しやすくなるために」という表現のほうが、私は好きだと思ったのですが、皆様どう思われますでしょうか。「が」か「も」の違いだけで、インクルーシブに考えているかどうかの意味合いがすごく出ると思います。
委員長	とても自然で良いかと思えます。たった一つの接続詞で、これだけで心配りがものすごく違う印象を受けます。とても大切なお指摘だと思います。
委員	このアンケートは紙ベース郵送で送られてくるのですよね？私は言葉を理解しているのでどんどん書き進められていくと思うのです。そして、あとから用語解説が出てくる。用語の前提は結構大事なことだと思うので、見てくださいますとは書いてありますが、郵送される時は、用語解説が前にあった方が用語解説がきちんと認識できるので、順番的に前にあったほうが答えやすいと思いますしありがたいと思います。質問に手をかける時に、まず、用語解説があった方が良いと思います。
事務局	その辺についてはとても考えたところで、委員のお考えのとおり、このアンケートを通して啓発をして、理解を深めてもらう意味合いもあるのですが、例えば問1等に「言葉を知っていますか」という設問があるの

で、解説を見た後に答えると知っているに回答がいつて偏るのではないかと懸念していました。当初、設問のすぐ下に用語解説がはいっていたのですが、目に入ってしまい答えられるのもどうかと思い、この形にした経緯はありますがいかがでしょうか。悩みどころではあります。

委員 ネタばれしていても、「知っている」ではなく「知っていた」とすれば良いのではないかと思います。

委員長 その辺についてちょっと工夫をしてみてください。構成なのでどちらも良いかと思います。例えば、途中に入っているとアンケートの印象が柔らかくなると思います。知りながら学んで進められる教材という意味合いからすると、後ろに味気なくついているよりは、読み進めるうちに学べると言ったほうが、良いのかと思います。学生も、後ろの参考事例等には読み捨てててしまいますので、説明を絡めるときちゃんと理解してくれます。検討していただければと思います。

委員 送られてきたアンケートについて、自分で一通りやってみました。4ページにあります問6につきまして、現在夫婦で暮らしている方だけお答えくださいというところを目にして、我が家には子どもがいるので飛ばして7番に進んでしまいました。ところが、再度上の問6を見たら、子どものことが書いているのがわかって、子どもがいる人でも問6書いていいんだと思い、逆に戻って6番にチェックしたということがありました。私と同じような勘違いをする人がいると6番は空欄が増えてしまうかもしれませんのでいけないなと感じました。

また、先ほど他の委員からもご指摘がありましたが、7ページ「5 男性中心型労働慣行の是正について」の文言についてですが、例えば「男性の行動変革について」といった、どちらかと言うと意識啓発も含めた言葉なのですが、言葉を変えても良いのかなと感じました。以上です。

委員長 言葉は検討いただければと思います。誤解を招いてはいけないので、どうあるべきか検討してみてください。

それでは、続いて、次の町内会・自治会のアンケートにいきたいと思えます。

委員 このアンケートについては、町内会・自治会としての考え方を聞いて把握するということだと理解で良いかと思うのですが、こういったケースだとありがちなのが、会長さんからどなたかに「これ答えておいて」と振られるケースも多々あるのではと思います。そうすると、意思決定者ではない方が答えられることとなります。回答者が特定されることはな

いと記載してありますが、やはり、役員等意思決定できる方の回答を求めように記載しておいたほうが良いかと思えます。

事務局 意図はおっしゃるとおりなので、委員のご指摘通り、その旨表記するようにします。

委員長 回答者の記名をしても良いぐらいではないかと思えます。回答者が男性か女性かによっても回答が全く変わってくると思えますし、性別や肩書を記入する欄を設けても良いかと思えます。プライバシーの問題で書けない部分があるのでしょうか。

事務局 前回のアンケートの時に、誰が書けばよいのかという問い合わせを多くいただきまして、意思決定に関わる方をお願いしたい旨を説明した経緯はあります。会長がお答えいただくのが1番良いのですが、必ずしも会長である必要はないところもあり、お願いベースではありますので、強く書けない部分もあります。リーダーに回答してもらいたい旨を改めて記載するように検討したいと思えます。

委員 前回のアンケートを私は町内会の副会長として答えましたが、会長のほうから、回答記入の依頼があり実際回答しました。回答してみると回答しづらい回答もありました。なかなか難しい実態があります。団体としての回答を求められると厳しいかもしれません。

委員 市民のアンケートと同じように、最初に性別や肩書を聞く欄を設けて、会長等の意思決定できる方がお答えくださいと記載するのが良いかと思えます。

委員長 町内会であれば、特に秘匿性について気にしなくても誰が答えたかを明示してもらって良いのではないかと思えます。委員の言う傾向があるようなので予防的にそういった説明の文言を加えておくよう工夫すると良いと思えます。

委員 全町内会に配布されるということによろしいでしょうか。

事務局 その通りです。

委員 その時の表書きなのですが、町内会御中とするのか、町内会長様あてで届くのか、そこはいかがでしょうか。責任上、個人名や役職指定でこられると、きちんと答えなければという気持ちになります。あるいは庶務の方が答えて会長が目を通すこともあるでしょうし。

委員 町内会としては、個人名でも団体名でも書類として受け取ります。個人的にというスタンスはないと思います。あまりそれで大差はないと思います。中身を見て、回答を割振る、という流れになろうかと思います。

委員 事務局にお任せします。

委員 案内文に「会長各位」と入れておけば良いと思います。

委員 その方が良いと思います。タイトルのところで、町内会・自治会とあるのですが、町会というのが半数くらいあるかと思いますが、町会を加えたほうが良いかと思います。古くからあるところは、町会というところが多いと思います。町会を入れておいたほうが親切かと思います。あと、規模、世帯数につままして、選択肢が気になるのですが、1,000から2,000以上を設ける等したほうが良いかと思います。10世帯未満を取り上げるのであれば、上限についての区切りをバランスよくしたほうが良いと思います。

委員長 その辺は市民部内で調整して、うまくバランスの良い比率になるように今後調整して設定してもらえたらなと思います。

事務局 その辺も地域コミュニティ支援課に確認してみます。回答しやすいように検討したいと思います。

委員 タイトルが「男女共同参画と性の多様性に関する」となっているのですが、性の多様性に関する内容がないように思います。性の多様性に関する設問を設けるよう要望をさせていただきましたが、加えられていませんので、性の多様性に関する設問が無いことに違和感を覚える方も多いと思います。

係長 先ほどの委員のご指摘のとおり、個人で回答するような設問を省いた形で前回から変更したところですが、例えば「知っている・知らない」という設問を団体に組織として聞くのは難しいと思いましたので。しかしながら、確かに性の多様性に関する設問がないのは表題と合っていないとおかしいので、持ち帰って改めて検討させてください。

委員長 「性の多様性に関するイベントをやったことがありますか?」「講演会をやりたいと思いますか?」「話題になったことがありますか?」等を聞けばよいと思います。そうすれば、興味があると答えた町内会あてに講演会を開くきっかけになって良いと思います。世代的には知らない方

も多いと思われるので。この時点から新たにその設問を加えるのを考えるのも難しいと思いますが、考えてみてください。

それでは続いて3つ目。職員向けの電子申請システムでの画面になりますが、職員に向けてのアンケートでご意見・ご質問がある方がいましたらよろしくをお願いします。

委員 市民向けのアンケートと同じになります、問27につきましても、「が」を「も」に変えられると良いと思います。

委員 ワークライフバランスのところで気になったのは、現状の実態を把握できる設問があったほうが良いのかなと思いました。有給取得率等は人事課のほうで把握していると思いますが、部署によって取りやすさは違ってくるとは思います。

委員長 このアンケートは実態把握ではなく、あくまで職員の意識調査であるのかハッキリしておいたほうが良いかと思います。意識調査と実態、分けるのであればしっかり分けて双方把握しておいたほうが良いかと思います。

事務局 これはあくまで意識調査の意味合いで行います。実態については人事課からデータをもらっています。

委員長 それでは、全体3つを通して、何かありましたらどうぞ。

委員 今回と言うよりは次回に向けての要望になると思いますが、市民向けのアンケート、特に高校生が答えることになると、きちんと答えてもらうのは難しいと思います。その時に、アプリなりウェブで回答できるようになればより答えやすいと思います。また、今回アンケートのボリュームを見て、答えるのが大変だなという印象を受けました。その中で救いになるので、表紙にあるイラスト（スカリン）でした。例えば、「知っていますか？」の設問のところに手のイラストがあったらアンケートの印象が柔らかくなって良いかと思いました。

委員長 学生等の下の年代にはそういったことも必要かもしれませんね。一つ検討課題としてお願いします。
全体を通して、質問やご意見はありますか。事務局から何か連絡事項はありますか。

事務局

次回審議会は、11月頃を予定しております。正式に開催日が確定いたしましたら、ご通知いたします。事務局からは以上になります。なお、本日、お車でお越しの方で、市役所北口駐車場をご利用の方は、無料の処理を行いますので、審議会終了後に事務局に駐車券をお渡しください。

閉 会

委員長

それでは以上をもちまして、令和3年度 第1回の審議会を終了します。中学生の冊子のコメントシートやアンケートについてのお気づきの点がありましたらそれぞれ回答についてご協力よろしく申し上げます。委員の皆さま、長時間にわたり、ご審議ありがとうございました。お疲れさまでした。